

NO.09-00021
報道関係者 各位

2009年6月10日

株式会社 千趣会

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol. 27』

20-50代の女性781人に「夫の家事・育児参加」について聞きました。

夫にもっと家事参加してほしいと思う 68%

夫にもっと育児参加してほしいと思う 79.3%

～理想のパパは、「子供から尊敬される」「子供の話を聞く」「いざという時は叱ってくれる」～

株式会社千趣会（本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、6月21日（日）の父の日を前に、20～50代の女性781人のスタイルモニターを対象に“夫の家事や育児参加の実態”についてのアンケート調査を実施しました。

最近、街中ではベビーカーを押しているパパや、子どもを抱っこしているパパの姿をよく見かけるようになりました。そんなパパたちをママである妻たちは、どのように見て、感じているのか、調査結果で明らかになりました。

◆ 夫の家事参加に満足しているのは2人に1人

夫の家事参加に「とても満足している」は8.1%、「わりと満足している」の39.9%を合わせると満足しているのは2人に1人という結果に。ちなみに夫の家事参加に点数をつけてもらおうと平均では48.1点、年代別では20代が最も高く55.5点、30代49.1点、40代42.4点で若い世代ほど夫の家事参加に満足していることがわかりました。

◆ 夫にもっと家事参加してほしいと思う 68%

夫にもっと家事参加してほしいと思いますかという質問では「とてもそう思う」23.6%、「わりとそう思う」44.4%で約7割がもっと参加してほしいと思っています。現在夫が担当している家事では「ゴミ出し」「食事の後片付け」「お風呂掃除」が上位になっています。

◆ 夫にもっと育児参加してほしいと思う 79.3%

夫の育児参加に「とても満足している」は13.4%、「わりと満足している」の45.8%を合わせると約6割が満足しており、家事参加の満足度に比べると若干が高いという結果に。ただし、今後もっと育児参加してほしいと思っている女性は約8割に上り、夫の育児参加に対する期待が高いということがわかりました。

◆ 約7割が今の夫と父親世代では育児へのかかわり方が違うと回答

夫の育児への関わり方は父親世代と比べて違うと思うか、という質問に対しては、68.1%が「違うと思う」と回答した。多かったのは「夫の方が積極的に育児に参加してくれる」で、少数ながら「父親の方が協力的だった」という声も聞かれました。

◆ 理想のパパは、「子供から尊敬される」「子供の話をよく聞く」「いざという時は叱ってくれる」

「子供が尊敬できるような生き方をしている人(43歳)」、「子供の話をしっかり聞いてくれて、子供をしっかり見守ってくれる人(29歳)」、「子供の遊び相手や話し相手になってくれる。普段は怒らなくても大事なときは叱ってくれる(34歳)」といった声が多く、子供とのコミュニケーションがきっちり取れるということが理想のパパの条件と言えそうです。ちなみに、理想のパパを芸能人で例えてもらうとダントツで「つるの剛士」さんという結果になりました。



なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ「くらしのたまご」ライブレポートをご覧ください。

http://www.kuratama.jp/report_live/055/live055.htm

◎調査の方法:ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターに登録している20 - 59歳の既婚・子供のいる全国の女性で有効回答数は781人。インターネットを使って2009年4月28日～4月30日に実施した。

◎本件に対するお問い合わせ先

株式会社千趣会

東京総務・広報部 東京広報チーム 加藤 浅川

東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル

TEL:03-5475-7511 FAX:03-5475-7516 e-mail: pr@senshukai.co.jp